

2025年人権週間協賛 人権尊重と部落解放をめざす

県民のつどい

1000人を超えるたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました



(鳥の鳴き声)



参加者のみなさまにご協力いただいたアンケートでは、多くの方から、『大変よかった』『よかった』とのご回答をいただきました。参加者のお声を一部ですが、紹介します。

(滋賀県人権センター50周年特別企画「蓮如とその母」の上映)

- ・あの時代に、このレベルの映画を滋賀県だけで製作したということに驚きました。
- ・母が子を想う気持ちやどうにもならない社会に対する苦しさやはがゆさを改めて感じる、人権について考えさせられる映画でした。

(意見発表『「特攻隊」を通して』)

- ・素晴らしい発表でした。自分で気になったことを調べて、実際に現地に行かれて見て聞いと、なかなか簡単ではないことをされていて凄いと思いました。
- ・戦争の歴史が風化される中で、中学生自身の体験による訴えは、平和学習の大切さを感じさせてくれた。

(記念講演『「はて？」を投げかけ、透明化された人たちを描く～みんなが翼を得られる社会へ～』)

- ・今まで憲法14条をじっくり読み解くということをしたことがなかったので、吉田さんの思いも合わせて見ると、心打たれる思いがしました。
- ・まずは、自分の中で0を0.1に変えることからスタートしたいと思いました。知るということは貴重！分かろうとする努力を怠らないこと！吉田さんの言葉が胸に突き刺さりました。

(つどいに参加して)

- ・先入観や決めつけではなく、相手の思い、表現、話をじっくりきくということを大切にしたいと思います。
- ・企業の人権啓発の担当として社内教育に活かしたい。「はて？」というセリフは役立ちそうです。
- ・県民のつどいのような人権について考える機会に参加し、学んだこと、気づいたことを、身のまわりの

たくさんの人々に伝えていきたいと思います。

2026年は、12月6日（日）に開催予定

事前申し込みなし、無料で参加できます。（詳細は滋賀県人権センターHP、チラシなどでお知らせします。）部落問題の解決をはじめ、人権が尊重される社会をめざして、いっしょに考えませんか？ぜひご参加ください！